

会 議 の 経 過

開 会 午前10時00分

令和5年1月5日

副議長（升沢博子君）

高橋拓生議長から欠席届が出ておりますので、地方自治法第106条第1項により、私が議長の職務を行います。よろしくお願いいたします。

ただいまから、令和5年平泉町議会定例会を開会いたします。

令和5年平泉町議会定例会が開会されるに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

副議長の升沢でございます。

本来ならば高橋議長が挨拶を申し上げるところでございますが、挨拶を預かってまいりましたので、代読させていただきます。

明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

年頭に当たり、平泉町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

初めに、いまだ終息に至らない新型コロナウイルス感染症にあつては、罹患された方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、医療従事者、介護・福祉従事者をはじめ、観光業、飲食業、交通事業、農業などの大変困難な状況に立ち向かっている全ての方々に心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

昨年は、北京五輪、パラリンピックやサッカーワールドカップカタール大会など、国際的なスポーツ大会で日本の選手たちが大いに活躍し、勇気と感動を与えてくれました。一方で、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、3年ぶりに春の藤原まつり、東下り行列の開催など、様々な行事が開催され、本来の平泉町の姿を取り戻しつつある一年となりました。しかしながら、年末には新たな第8波に入るなど、まだまだ予断を許さない状況となっております。

本町では、長引くコロナ禍、ウクライナ情勢や円安などの影響による物価高騰を受け、本年も引き続き新型コロナウイルス感染症対策及び地域経済の立て直しが急務となっております。さらに、想定を超える自然災害に対する防災対策、人口減少対策、教育・福祉の充実など、様々な課題が山積しております。

議会といたしましては、様々な町政課題の解決に向け、しっかりと議論を重ねるとともに、町民の皆様の声を町政に的確に反映させるため、議会と町民の懇談会を予定しております。二元代表制として当局と切磋琢磨しながら、住民の皆様を第一に考え、精いっぱい務めていく所存であります。また、議会の役割を十分に発揮しながら町政の発展に貢献していくため、これからも議会改革を進め、一番身近な頼れる議会を目指してまいります。

今年の干支は、「みずのとう」の年であり、これまでの努力や我慢が花開き、実り始める年と

のことです。本年が皆様にとって幸多き年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和5年1月5日、平泉町議会議長、高橋拓生。

代読でございました。

次に、青木町長から挨拶をいただきます。

青木町長。

町 長（青木幸保君）

令和5年、新年に当たりまして、ご挨拶を申し述べさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。

議員各位におかれましては、新たな希望を胸に新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年は、コロナ感染症の中、感染症対策をしっかりと取りながら様々な事業が展開できました。これもひとえに町民各位はじめ、議員皆様方の多大なるお力添えの下にできたというふうに思っております。しかし、コロナ禍はまだまだ終わっているわけではありません。新年度においても、そうしたコロナ対策をしっかりと取りながら、昨年培ったものを、さらに本年はそれを土台にしながら、事業に、そして施策に取り組んでまいりたいというふうに思っております。

あのカタール大会で、ワールドカップで日本が見せた、あの総合力のチームワークをさらにあやかりながら、チーム平泉として協働のまちづくりをさらに一步一步進めてまいります。そのためにも、町民各位並びに議会皆様方の多大なるお力添えが原点であります。それを基礎としながら、皆さんとともに歩みながら、平泉発展のために尽くしてまいりますので、議会皆様方のなお一層のお力添えを賜りたいというふうに思います。

町民各位のご多幸と、そして、平泉町議会のますますのご発展と議員各位のご健勝、ご活躍をご祈念を申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞ本年もよろしく願いをいたします。

副議長（升沢博子君）

ただいまの出席議員は11名です。

高橋拓生議長から欠席届が出ております。

定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

これから1月会議を開きます。

日程に入るに先立ち、諸般の報告を行います。

定例会1月会議に説明員として出席するものの職氏名を一覧表にしてお手元に配付しておきましたから、ご了承願います。

以上で諸般の報告を終わります。

町長から人事紹介の申出がありますので、これを許します。

青木町長。

町 長（青木幸保君）

それでは、1月1日付で菅原幹成氏を副町長に任命いたしましたので、ご紹介を申し上げたい

と思います。よろしくお願いいたします。

副議長（升沢博子君）

菅原副町長。

副町長（菅原幹成君）

菅原幹成でございます。

誠心誠意務めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

副議長（升沢博子君）

これで人事紹介を終わります。

これから本日の議事日程に入ります。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。この日程で進めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

副議長（升沢博子君）

異議なしと認めます。

したがって、この日程で進めることに決定しました。

直ちに本日の日程に入ります。

副議長（升沢博子君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、1番、大友仁子議員及び2番、稲葉正議員を指名いたします。

副議長（升沢博子君）

日程第2、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から12月27日までの357日間にしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

副議長（升沢博子君）

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から12月27日までの357日間と決定しました。

副議長（升沢博子君）

これで本日の日程は全て終了しました。

閉議の宣言をいたします。

皆様、ご起立願います。

これをもって、令和5年平泉町議会定例会1月会議を閉じます。

ご苦労さまでございました。

散会 午前10時10分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平泉町議会副議長 升 沢 博 子

署名議員 大 友 仁 子

同 稲 葉 正